

キャリブレーションガイド

このガイドは、操作の概要だけを記載しています。詳しい操作については、『ユーザーズガイド - カラー調整編』の「3 キャリブレーション」を参照してください。

●キャリブレーション対象用紙

非コート紙、再生紙、コート紙、キャストコート紙、マットコート紙

キャリブレーションのすすめ

プリンターの色再現性を安定させるため、次の場合にキャリブレーションの実施をおすすめします。
プリンター本体が安定した状態で実施してください。

- 室内環境（温度・湿度）の急激な変化のあと
- カラープロファイルを作成する前
- 標準搭載のカラープロファイルを使用したプリントで、再プリントを予定しているとき
- 用紙を切り替えたとき、一定期間後に再プリントするとき

測色器を使ったキャリブレーション

キャリブレーションファイルの新規作成

- 1 Print Stationのメインメニューから【キャリブレーション】を選択します。
- 2 【キャリブレーション】タブの **+**（新規）をクリックします。
- 3 【測色器種類選択】で、【測色器】を選択します。
- 4 画面に従って操作を進めます。



【ステップ1】

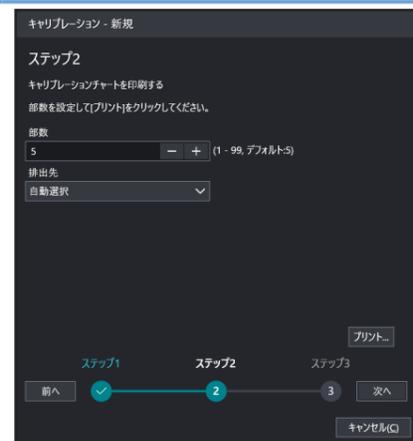
条件を選択し、【次へ】をクリックします。

【ステップ2】

- ① 条件を選択し、【プリント】をクリックします。
- ② キャリブレーションチャートをプリントしたあと、【次へ】をクリックします。

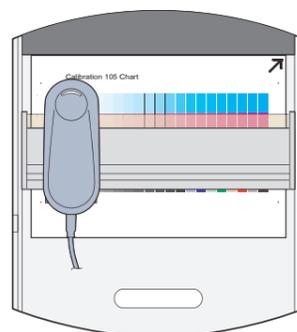
【ステップ3】

【スタート】をクリックします。
Color Measurement Utilityが起動します。



補足

- 【ステップ1】の【キャリブレーション方法】は【3D】がおすすめです。
- 【ステップ1】の【キャリブレーションターゲット】で、独自のキャリブレーションターゲットが必要な場合は、事前に【ターゲット】タブでキャリブレーションターゲットを作成してください。
- 【測色開始】をクリックします。



(うらにつづく)

スキャナーを使ったキャリブレーション

スキャナーキャリブレーション

- 1 Print Stationのメインメニューから【キャリブレーション】を選択します。
- 2 【キャリブレーション】タブの **+**（新規）をクリックします。
- 3 【測色器種類選択】で、【スキャナー】を選択します。
- 4 画面に従って操作を進めます。



【ステップ1】

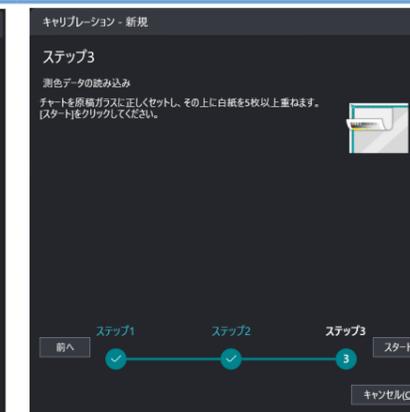
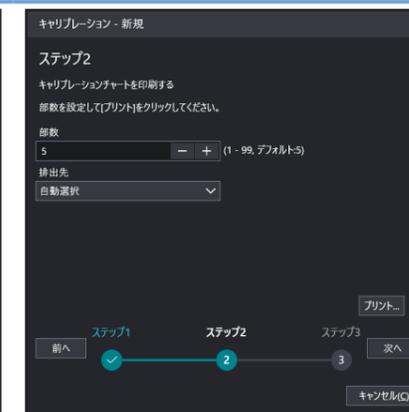
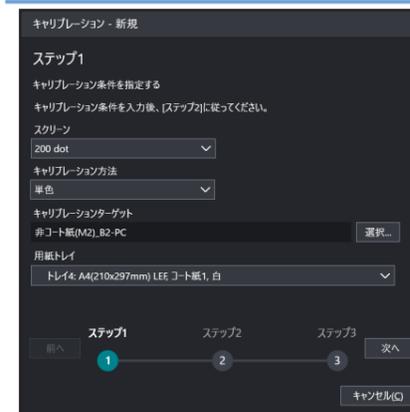
条件を選択し、【次へ】をクリックします。

【ステップ2】

- ① 条件を選択し、【プリント】をクリックします。
- ② キャリブレーションチャートをプリントしたあと、【次へ】をクリックします。

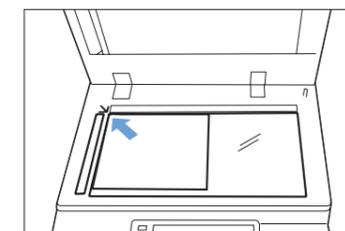
【ステップ3】

- ① プリントしたキャリブレーションチャートをセットします。
- ② 【スタート】をクリックします。



補足

- 【ステップ1】の【キャリブレーション方法】は【3D】がおすすめです。
- 【ステップ1】の【キャリブレーションターゲット】で、独自のキャリブレーションターゲットが必要な場合は、事前に【ターゲット】タブでキャリブレーションターゲットを作成してください。
- 【ステップ3】でチャートをセットするときは、おもて面を下に向けて、原稿ガラス左奥に矢印が向くように置きます。その上に同じサイズの白紙を5枚以上重ねて置きます。



- 5 【結果表示】ダイアログボックスに表示された結果を確認します。

(うらにつづく)

- 5 キャリブレーションチャートを測色器で測色します。

補足

測色するときは、測色するチャートの下にチャートと同じ用紙の白紙を5枚以上敷いてください。

- 6 読み取り（測色）が終了したら、【結果表示】ダイアログボックスに表示された結果を確認します。

〔測色器を使ったキャリブレーション〕のつづき



結果の確認とキャリブレーションファイルの保存

1 [結果表示] ダイアログボックスに表示された結果に問題がないときは、[保存と割り当て] をクリックします。

補足

作成したキャリブレーションファイルをプリントに適用して状態を確認するときに、[確認] をクリックして処理を続行します。表示された状態で保存する場合には、[表示結果の保存と割り当て] をクリックします。精度向上のため繰り返し処理を行う場合には、[保存と割り当て] をクリックするか、[繰り返し処理] をクリックしてキャリブレーションを繰り返します。

2 キャリブレーションファイルのファイル名、コメントを入力して [保存] をクリックします。

補足

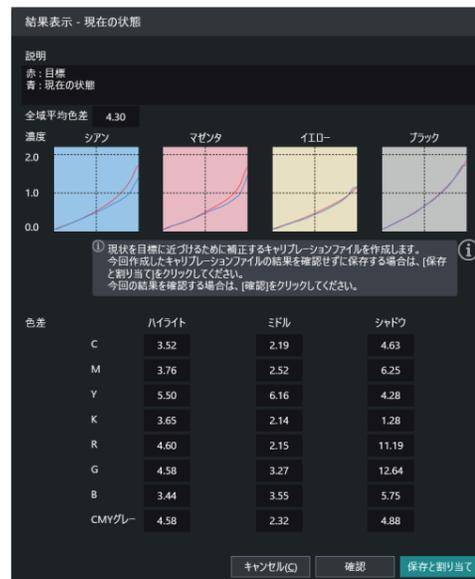
[選択されている用紙トレイ/メディアに割り当て] がチェックされていると、保存と同時に、キャリブレーション条件 (ステップ1) で選択した選択されている用紙トレイ/メディアに、キャリブレーションファイルの割り当てが行われます。

〔スキャナーを使ったキャリブレーション〕のつづき



(画面 1)

(3D キャリブレーション)



(画面 2)

キャリブレーションの保存と割り当て

キャリブレーション条件
読み取り装置:i10 2 (M2)
スクリーン:200 dot
キャリブレーション方法:単色
用紙トレイ/メディア:トレイ1 / 非コート紙
ファイル名、コメントを入力して[保存]をクリックしてください。
キャリブレーションファイル名: 20201112-164335
コメント

選択されている用紙トレイ/メディアに割り当てる

戻る キャンセル(C) 保存

※繰り返し処理の2回目以降では、[確認] のところに [繰り返し処理] のボタンが表示されます。

表示結果の保存と割り当て キャンセル(C) 繰り返し処理 保存と割り当て

キャリブレーションファイルの操作

用紙トレイへの割り当て ([割り当て]・[全てに割り当て])

キャリブレーションファイルを用紙トレイに割り当てます。

- 1 Print Station のメインメニューから [キャリブレーション] を選択します。
- 2 割り当てを指定します。

- ① 左のファイルリストから、割り当てるキャリブレーションファイルを選択します。
- ② 右のトレイリストから、割り当てる用紙トレイを1つ、または複数選択します。
- ③ [割り当て]、または [全てに割り当て] をクリックします。

補足

- [全てに割り当て] をクリックすると、選択されたキャリブレーションファイルがすべての用紙トレイに割り当てられます。
- トレイに割り当てられたファイルを、キャリブレーションの標準ファイルに戻すには、トレイを選択して [標準に戻す] をクリックしてください。
- あらかじめ割り当てられているキャリブレーションの標準ファイルは、キャリブレーション効果を持ちません。
- 用紙トレイにメディアが割り当てられているときは、トレイとメディアの両方に割り当てます。
- ジョブに直接キャリブレーションが割り当てられているときは、ジョブの適用が優先されます。ジョブへの割り当ては、Print Station の [ジョブ管理] のジョブリストからジョブを選択し、[ジョブプロパティ] の [画質] > [画質調整] > [キャリブレーション] で行います。



キャリブレーションファイルの確認 ([確認])

キャリブレーションファイルをプリントに適用して状態を確認できます。

- 1 確認するキャリブレーションファイルをリストから選択し、[確認] をクリックします。
- 2 確認方法を選択し、[OK] をクリックします。

● 目視による確認 (プリントして確認)

キャリブレーションファイルの適用前後のサンプルをプリントします。適用前後のサンプルを比較することで、キャリブレーションの効果を目視で確認できます。

出力するチャートを選択し、[プリント] をクリックします。



● データによる確認 (測色して確認)

キャリブレーションファイルを適用したチャートを測色することで、ターゲットに対してどれだけ一致しているかを確認できます。
*キャリブレーションファイルの作成はできません。

選択したキャリブレーションファイルを、新規作成と同じ手順で確認します。



キャリブレーションファイルの更新 ([更新])

[更新] をクリックすると、選択したキャリブレーションファイルを新規作成と同じ手順で更新できます。作成条件および割り当て状態は、変更されません。

補足

[一世代戻す] をクリックすると、更新機能を使ってキャリブレーションファイルを最新の状態にしている場合など、これまでと色再現が変わってしまったときに、前回作成時のキャリブレーションの状態に戻すことができます。